

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和8年5月15日（金）10:00～11:40
開 催 場 所	上尾市役所本庁舎 庁議室
議長（委員長・会長）氏名	山本 匡毅
出席者（委員）氏名	山本 匡毅、飯田 裕之、大澤 哲也、大木 保司、市村 英一 鈴木 啓太（代理）、井上 克典、安藤 由美、市倉 育江、吉田 薫 〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者（委員）氏名	松本 猛、松村 稔、高野 正則
事務局（庶務担当）	環境経済部長 藤田、次長 本郷、 商工課長 吉永、農政課長 小川 商工課主幹 大室、商工課副主幹 加藤、商工課主任 小林
会 議 事 項	1 開 会 2 委嘱式 2 議 題 （1）令和8年度提言（案）と令和9年度施策の検討について （2）今後のスケジュールと協議事項について （3）その他 3 閉 会
会 議 資 料	別紙のとおり

議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和 8 年 7 月 31 日

会長の署名 山本 匡毅

議 事 の 経 過

事務局（商工課 吉永）	1 開会 令和 8 年度第 1 回上尾市産業振興会議を開会いたします。本日の司会を務めさせていただきます上尾市商工課長の吉永と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日の進行につきましては、事前に委員の皆様にお送りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。 2 委嘱式 それでは、次第の 2「委嘱式」に入ります。 委嘱状は畠山市長より交付させていただきます。名簿順にお名前をお呼びしますので、呼ばれましたら前までお進みください。 ～委嘱状交付～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、令和 10 年 3 月 31 日までの間、本市の産業振興についてお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。 なお、松本委員、松村委員、高野委員におかれましては、本日、所用により欠席とのご連絡をいただいております。また、埼玉りそな銀行上尾支店の福岡委員が所用のため、副支店長の鈴木様に代理でご出席いただいておりますことをご報告いたします。本日欠席の 2 名と代理出席となりました福岡様については、後日交付させていただきます。 続きまして、畠山市長より挨拶を申し上げます。
畠山市長	～市長挨拶～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。委嘱状の交付を終了いたします。 恐れ入りますが、市長は公務の都合により、ここで退席となります。 ～市長退席～
事務局（商工課 吉永）	それでは、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと思います。
各委員	～自己紹介～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。

事務局（商工課 吉永）	本日は、オブザーバーとして、上尾商工会議所支援課長の桑原様にもご出席 いただいておりますので、栞原様からも自己紹介をお願いいたします。
栞原オブザーバー	～自己紹介～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。続きまして、事務局の自己紹介をいたします。
事務局	～自己紹介～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。続きまして、会長及び副会長の選出でございます。 本会議の設置条例第 5 条第 1 項の規定により、会長及び副会長の選出にあ たっては、「委員の互選により定める」とありますが、選任につきまして、ご 意見はございますでしょうか
大澤委員	事務局の案はありますか。
事務局（商工課 吉永）	はい。事務局案でございますが、会長には、産業及び地域政策に精通されて いる成城大学の山本匡毅様、副会長には、地域経済団体を代表し、上尾商工会 議所副会頭の飯田裕之様をお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがで しょうか。
各委員	異議なし。
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございます。山本様、飯田様、どうぞよろしくをお願いいたします。 会長に選任されました山本会長より、ご挨拶を賜りたいと思います。
山本会長	～会長挨拶～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。続きまして、飯田副会長よりご挨拶を賜りたいと 思います。
飯田副会長	～副会長挨拶～
事務局（商工課 吉永）	ありがとうございました。それでは、次第 3 の議題に入ります前に、資料の 確認をさせていただきます。 事前に送付いたしました資料は 4 点ございます。 資料 1「令和 8 年度提言（案）と令和 9 年度施策の検討について」

事務局（商工課 吉永）	資料 2「今後のスケジュールと協議事項について」 参考資料 1「令和 8 年度上尾市産業振興会議委員名簿」 参考資料 2「令和 8 年度提言書のアウトライン（資料 1 関連）」 加えまして、本日、机上に「第 2 次上尾市産業振興ビジョン」、「令和 7 年度上尾市の産業振興に関する提言書」の 2 点を配付させていただいております。 本日の会議につきましては、委員 13 名の内、9 名のご出席、1 名の代理のご出席をいただいておりますことから、本会議設置条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございましたので、有効に成立していることをご報告いたします。 本日は、昨年度より検討を進めてきました令和 8 年度の提言（案）及び令和 9 年度の施策の検討について報告させていただき、皆様よりご意見を頂戴したいと思います。 そのあと、本会議に係る今後のスケジュール等について、委員の皆様へご案内させていただきます。 それでは、議事の進行につきましては、規定に基づき、山本会長に議事の進行をお願いいたします。
山本会長	議題に入ります前に、議事録署名及び当会議の公開について、事務局より説明をお願いします。
事務局（商工課 吉永）	本会議の議事録署名につきましては、本市の他会議の署名の実施状況を鑑みまして、この度の会議より署名は会長のみとしたいと考えております。 また、本会議は、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従い、原則公開の方向で考えております。よろしくお願いいたします。
山本会長	事務局より説明がありましたが、何か質問はありますか。
各委員	～発言なし～
山本会長	それでは、公開ということで進めさせていただきます。 事務局に確認します。本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。
事務局（商工課 吉永）	本日、傍聴者はありません。
山本会長	事務局より傍聴者なしとの報告がありましたので、会議を続行いたします。

山本会長	それでは、次第第3「議題」に入ります。 議題（1）、「令和8年度提言（案）と令和9年度施策の検討について」事務局より説明をお願いします。
事務局（商工課 加藤）	商工課の加藤でございます。それでは、説明させていただきます。 本日は、新任の委員様もいらっしゃいますので、議題に入ります前に、本日も机上に配付させていただきました「第2次上尾市産業振興ビジョン」と「上尾市の産業振興に関する提言書」について、概要を説明させていただきます。 はじめに、「第2次上尾市産業振興ビジョン」についてご説明いたします。恐れ入りますが、「第2次上尾市産業振興ビジョン」をお手元にご用意ください。 2ページをお願いいたします。 「第2次上尾市産業振興ビジョン策定の趣旨」をご覧ください。 1行目でございます。本市では、農業・商業・工業・観光における産業振興の将来像と方向性を定めた「上尾市産業振興ビジョン」を平成26年に策定し、地域経済の安定化や産業競争力の強化、新たなまちの魅力の創出などを図ってまいりました。策定から10年が経過し、消費活動やビジネス形態の変化、デジタル化の加速など、産業構造が大きく変化したこと、また、SDGs やカーボンニュートラルなど、新たな社会課題への対応も求められるようになったことを踏まえ、あらたな産業振興の将来像を定めるため、昨年度末に第2次ビジョンを策定したものです。 3ページをお願いいたします。 「本ビジョンの位置付け」でございます。上段の四角で囲われた部分をご覧ください。 本ビジョンは、本市の最上位計画であります第6次上尾市総合計画における、まちづくりの7つの基本方向のうち、1番下段にある「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」の実現に向けた個別の推進計画となります。 その下にございます上尾市関連計画をご覧ください。都市計画マスタープランや環境基本計画など、産業振興に関係する本市の関連計画とも連携・整合を図りながら、柔軟に施策を推進してまいります。 4ページをお願いいたします。 「本ビジョンの計画期間」でございます。 今年度より令和17年度までの10年間としております。ただし、5年後に想定されます次期総合計画や社会経済環境の変化に応じて適宜見直しを検討するものとしております。 32ページをお願いいたします。 「新ビジョンの体系図」でございます。目指すべき姿を「豊かな暮らしと産業の持続的な発展を支える活力のある あげお」とし、政策の柱として3本

	の基本方針を設定し、各柱から基本施策を、さらに基本施策からオレンジ色で色付けされております計 41 の主要施策を設けております。また、基本施策の赤枠で囲われている施策については、第 6 次上尾市総合計画の後期基本計画に掲げる産業振興施策の推進に寄与する重点施策としております。 続きまして、53 ページをお願いいたします。 「ビジョンの実現に向けた推進体制」でございます。 中段の図をご覧ください。当会議を推進体制の核として、ビジョンで掲げた各施策における具体の事業内容について協議・検討してまいります。取りまとめた内容については、毎年、提言書として市に提出し、効果的な施策の実現に努めてまいります。 最後に、55 ページをお願いいたします。 「ビジョンの進捗管理及び評価・検証」でございます。 ①の進捗管理でございますが、各施策の進捗状況や成果を定期的に管理し、当会議において報告させていただき、ビジョンの推進における課題の発見と解消を継続的に行ってまいります。また、②の評価・検証につきましては、次期上尾市総合計画や次期上尾市産業振興ビジョンの改定時に、目指すべき姿に寄与したかなどについて評価・検証を行います。 第 2 次上尾市産業振興ビジョンの概要の説明は以上でございます。 続きまして、「上尾市の産業振興に関する提言書」について、ご説明いたします。恐れ入りますが、「令和 7 年度 上尾市の産業振興に関する提言書」のご用意をお願いいたします。 こちらの提言書は、先ほどのビジョンの説明でも申し上げましたが、当会議で協議・検討した内容をとりまとめ、昨年の 8 月下旬に市長に提出したものでございます。毎年 8 月に提出している理由としましては、翌年度に向けた予算編成が 9 月から始まることから、提言の内容を予算編成・予算要求に活かすためでございます。提言書の内容が翌年度の市の事業に大きく影響することになります。 4 ページから 5 ページをご覧ください。令和 7 年度の提言に関する内容が記載されております。4 ページの提言 1 及び 5 ページの提言 2 の内容をもとに、令和 8 年度の産業振興施策を進めているところでございます。次ページ以降は、提言に至る検討過程や、施策の進捗状況などを記載しております。 簡単ではございますが、「上尾市の産業振興に関する提言書」の概要についての説明は以上でございます。 事務局（商工課 加藤） それでは、議題（１）「令和 8 年度提言（案）と令和 9 年度施策の検討について」ご説明いたします。
--	---

本議題では、ただ今ご説明しました提言について、今年 8 月の提出に向け、昨年度より検討を進めてきたこれまでの検討結果をあらためて委員の皆様にご提示し、ご意見、ご提案を頂戴したいと存じます。

参考資料 2 をご覧ください。こちらは今年 2 月に開催しました当会議における資料でございます。経済情勢や産業を取り巻く社会状況、また産業における本市の特徴から課題を抽出し、求められる施策を検討し、提言案としてまとめたものでございます。この提言案から令和 9 年度の施策の方向性としてお示ししたものが資料 1 となります。

それでは、資料 1 の「令和 8 年度提言（案）と令和 9 年度施策の検討について」をご覧ください。

資料上段の提言（案）「本市のポテンシャルの活用支援と魅力発信施策の展開」でございますが、本市の交通利便性や、商圈人口の多さ、製造業の集積など、産業振興に向けた大きな可能性があります。こうした強みを活かし、各施策を一体的に進めることが重要であると考えます。

一方で、中小・小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、物価や人件費の上昇、人手不足や事業承継、デジタル化への対応など、多くの課題があります。これらの課題に対応するため、経営力の向上や新たな挑戦を後押しする取組みが必要だと考えます。

そのため、本市のポテンシャルの活用と魅力発信を通じて、「地域の強みを活かした産業の活性化」と「事業者の持続的な成長支援」を図ることをテーマとして、5 つの提言の柱をご提示いたします。

資料下段の表をご覧ください。

一つ目の柱は、「企業立地の推進」でございます。企業立地の推進に向け、令和 8 年度に実施する企業立地ニーズ調査の結果を踏まえ、企業の進出先として活用可能な空き地・空き店舗の状況を把握することで、立地支援の具体化を図ってまいります。

二つ目の柱は、「にぎわい創出」でございます。中心市街地や地域の公共空間を活用し、集客力のあるイベントを実施することで、市内外からの来訪者を促し、地域のにぎわい創出につなげてまいります。

三つ目の柱は、「地域資源の活用」でございます。農地やものづくりなどの地域資源を活用した体験型・観光型イベントを充実させ、本市の産業や魅力を広く発信するとともに、交流人口の増加を図ってまいります。

四つ目の柱は「経営支援の強化」でございます。経営改善や将来的な事業承継を見据えた経営計画の見直しなどを支援するとともに、専門家による伴走型支援を強化し、企業の魅力向上や新たな挑戦を後押ししてまいります。

五つ目の柱は、「持続的成長支援」でございます。生産性の向上と省力化につながる DX 導入、持続可能な経営に向けた SDGs の取組、創業支援、販路拡

	大、技能人材の育成支援を継続的に進め、産業の持続的発展を支えてまいります。 以上が5つの柱となります。各提言の柱が示す施策の方向性は、産業振興ビジョンの基本施策に合致しており、ビジョンの推進に寄与するものと考えております。 提言（案）をもとに事務局案としてご提示した提言の柱は妥当であるか、また、この他どのような施策の方向性が考えられるか、委員の皆様からご意見を頂戴したいと存じます。よろしくお願いいたします。議題（１）の説明は以上でございます。
山本会長	重要な議題でございますので、委員１人１人からご意見、ご質問をいただきたいと思ひます。 飯田委員からお願いします。
飯田委員	企業立地に関して、現在、上尾市には大手企業を誘致するだけの土地があるのか気になりますし、どのような業種の企業を誘致していくのかについて今後検討していく必要があると思ひます。 また、中心市街地の活性化についても重点的に施策を進めていく必要があると思ひます。
山本会長	ありがとうございました。それでは、大澤委員よりよろしくお願いいたします。
大澤委員	提言案である「本市のポテンシャルの活用支援と魅力発信施策の展開」は非常に良いテーマであると思ひます。上尾市は都心から近く、比較的人口も多いことからポテンシャルがあるまちであると思ひます。にぎわいの創出については、特に若い世代が共感するイベントや魅力の発信を進めるとよいと思ひます。 提言の柱の中で、「ものづくりなどの地域資源を活用した体験型・観光型の取組みの充実」とありますが、具体的な案などがありますか。
事務局（商工課 加藤）	他自治体の例で申し上げますと、地元工場への見学などが実施されております。本市において、製造業の集積は大きな強みであり、産業振興において有効活用すべき地域資源であると認識しております。市内外に本市のものづくりを広くPRするとともに、地域のアイデンティティの醸成の観点からも、工場見学の展開を検討しているところでございます。
大澤委員	工場見学となれば大手企業が主な対象になるかと思ひますが、中小企業も検討するとともに、見学における安全面も考慮していただきたいと思ひます。

山本会長	また、どの産業も同じかと思いますが、人手不足を感じております。学校等とも連携しながら採用活動を行っておりますが、中小企業は給与や福利厚生面で大手企業の水準には届きません。ものづくりのまちをアピールするなど、若い世代に訴求するものを考えていかなければならないと思います。 新潟県の燕三条エリアでは、産業観光として中小の町工場の工場見学を実施していますので参考にしてはいかがでしょうか。また、実施する際には安全面への配慮が非常に大事であり、丁寧な対応が求められるということですね。 また、若い方が上尾に愛着を持ち、上尾が好きだから上尾で就職するという流れがあるとよいと思います。そのためにも、上尾の企業を知っていただくことは非常に重要だと思います。 それでは、大木委員よりよろしくお願いいたします。
大木委員	にぎわい創出の点においては、中心市街地であるモンシェリー通りでの串ぎょうざフェスや上平公園での AGETAKE FES（アゲテイクフェス）が開催されており、両イベントとも認知され浸透してきていると感じております。 一方で、商店街は解散や会員の廃業など規模の縮小が進んでいます。家族内で事業が継承されないためと考えられます。 また、DX や SDGs の施策については、様々な条件があり、個人店舗では導入に踏み切れないケースがございます。施策の利便性を高めて PR していければよいと思います。
山本会長	商店街の縮小のお話がありました。事業承継に関する施策の立案に反映させていただければと思います。 それでは、市村委員よりよろしくお願いいたします。
市村委員	上尾の農業者は 10 年後には今の 3 分の 1 くらいになるのではないのでしょうか。次代を担う若者に地場産業を知ってもらい、見てもらう機会をつくっていただきたいです。 また、農地を観光資源として活用するためには、農地利用に関して、県や国との調整をはじめ、インフラ整備も含めた上尾独自の取組みが必要だと思います。 新規就農に関しては、儲かる農業を目指さなければ、その後の事業承継も見込めないと思いますし、事業の継続性や儲かる仕組みがなければ産業観光としても成り立たないと思います。 市内の林が徐々に減っていると感じます。林も観光資源の一つなと思います。林に公園や畑作などを組み合わせて観光資源として活用することもできるのではないのでしょうか。

山本会長	産業観光につながるような仕組みを是非考えていただきたいと思います。
鈴木委員	農地利用に関しましては、農地転用等の課題があるということですので、利用手法について検討していく必要があると思います。また、緑の保全に関してはSDGsの観点からも自治体としても大事な点になると思います。観光農園化などの観光振興も上尾市にとって重要な施策になると思いますので、検討を進めていければと思います。 それでは、鈴木委員よろしく願いいたします。
山本会長	提言の柱については、地域の金融機関としてご支援できるかなと思います。 現在、上尾市の困りごとを解決するという目標を掲げており、上尾市の人口減少を食い止めるため、法人につきましては、円滑な事業承継や再成長支援、創業支援に力を入れることによって、企業が発展し、雇用も継続でき、人口減少に歯止めをかけられるという位置付けで積極的に支援しています。また、個人事業者につきましても、事業承継を支援することで定住を促進できるのではないかと考えています。 にぎわい創出の点では、埼玉上尾メディックスさんとの連携が有効ではないかと考えます。
井上委員	地域の金融機関として地域の困りごとに対応するという点は、地域の事業者にとって非常に有益なことだと思います。また、埼玉上尾メディックスさんとの連携においては、例えば商店街やその他の観光資源と結びつけていくことが産業振興において有効だと思います。 それでは、井上委員よろしく願いいたします。
山本会長	企業立地の推進、土地の活用が重要だと思っており、土地の利用形態が変われば街並みも大きく変わると思います。企業立地を進めれば投資を呼び込めるので、税収や就業人口の増加、雇用の機会も増えることが見込めます。また、住宅が増えれば定住人口も増えることになるので、産業とのバランスをエリア別で考え、メリハリのある土地の活用を考えていく必要があると思います。 上尾市の有形無形の資源の絞り出しが必要ではないかと思っています。近隣市町にはあって上尾市にはないもの、上尾市にはあって近隣市町にはないものは何なのかについて個別検討し、取捨選択したものを魅力あるものに磨き上げていくこと重要ではないかと思っています。
山本会長	限られた土地の有効活用は非常に重要だと思います。市としてどのように活用していくかについては十分に協議・検討していく必要があると思います。

安藤委員	また、地域資源の活用については、資源を一つ一つ確認していく作業が重要だと思いますが、その地域に住んでいると、何が良いところで何を改善すべきなのか見えにくくなる傾向があるかと思います。学生など若い方の視点も取り入れながら展開することが重要であると感じました。 それでは、安藤委員よりお願いいたします。 産業振興ビジョンの基本施策については、この通りに進めることができれば素晴らしいと思いますが、委員の皆様のご意見をお聞きしていて、施策を実現させるためには、施策に関わる各主体が、それぞれ得意とする分野を着実に実行していく必要があると感じています。 消費者の立場としては、現在、市内でどのようなイベントが行われているのか、また、工業や商業における個性的な事業者や注目を集めるような事業者を見える化することはとても大事だと思います。 また、小学校の授業では上尾について学ぶ時間があります。現在は、指定文化財や市内の主な企業に関する内容が多いと思いますが、上尾には小規模であっても我々のとても身近にあるものをつくっている事業者がありますので、学校と連携して若い世代にPRできると良いと思います。
山本会長	どのような人がどのような活動をされているのかを見える化することは地域の産業の振興にとってとても大切なことだと思います。 また、地域の産業を若い世代に知ってもらうことは、地域への誇りや愛着の形成につながり、将来的な地域での就業にも影響する重要なことだと思います。 それでは、市倉委員よりお願いいたします。
市倉委員	市内で開催したイベントの参加者の属性を見てみると、2割～3割は市外からの参加で、中には県外から参加する方もいます。魅力的なイベントであれば市外からの集客も見込めるイメージがあります。
山本会長	具体的な事例として紹介していただきました。中心市街地の活性化にあたり、工夫次第で県外からも集客が見込めると思いますので、参考にさせていただければと思います。 それでは、吉田委員よりお願いいたします。
吉田委員	提言の柱にある「持続的成長支援」については、ビジョンの策定にあたって事務局より説明があった、消費活動やビジネス形態の変化、デジタル化の加速、SDGs やカーボンニュートラルなどの新たな社会課題など、変わりゆく課題に適切に対応していくことが重要だと思います。

山本会長	また、次世代を担う若い人たちの考え方や働き方への対応も必要だと感じました。 地域振興センターでは、経営基盤に関しては、経営革新計画の策定承認の支援や人材の育成、また、若手の育成に関しては、多様な働き方実践企業の認定などを行っておりますので、持続的成長支援に貢献できればと考えます。 上尾市だけで考えるのではなく、地域振興センター様をはじめ、様々な関係機関との連携が大事だと思います。次々と顕在化する新たな社会課題への対応は、企業経営を考える際に直面する案件ですので、産業振興施策に反映させていければよいと思います。 他にご意見はございますか。
市村委員	行政情報や地域のイベント情報など様々な情報をリアルタイムで発信する上尾市独自の仕組みがあったら面白いと思います。自分で情報を取得するのではなくプッシュ型がよいと思います。
山本会長	SNS の時代になっていることもあり、情報発信は重要な要素であると思います。そのような中で、コミュニティ FM を含め、ラジオは若者にも人気がありますので、活用も検討していかがでしょうか。
山本会長	それでは、議題（２）「今後のスケジュールと協議事項について」事務局より説明をお願いします。
事務局（商工課 加藤）	恐れ入りますが、資料 2 をご覧ください。 今後のスケジュールでございますが、上段に○で記載しております 3 点が中心となります。 1 点目は、先ほどの議題 1 にて申し上げました提言書の提出に向けた施策の検討でございます。次回、7 月に予定しております第 2 回会議におきまして、本日協議いたしました内容をもとに、「令和 8 年度 上尾市の産業振興に関する提言書（案）」をご提示いたします。提言書（案）の内容につきましてご確認及びご意見をいただき、8 月下旬に市長への提出を予定しております。 2 点目は、令和 10 年度に向けた産業振興施策の検討でございます。11 月に予定しております第 3 回会議におきましては、翌々年度となる令和 10 年度の施策立案に向けた検討を、また、令和 9 年 3 月に予定しております第 4 回会議では令和 9 年度提言書のアウトラインの作成に進んでまいります。 3 点目は、第 2 次産業振興ビジョンの進捗管理でございます。令和 9 年 3 月に予定しております第 4 回会議におきまして、今年度の施策の実施状況を踏まえ、新ビジョンの進捗を報告させていただく予定でございます。

山本会長	今年度は、新ビジョン推進の初年度となります。目指すべき姿である「豊かな暮らしと産業の持続的な発展を支える活力のあるまち あげお」の実現に向けた第1歩が踏み出されました。委員の皆様におかれましては、各団体や地域の声を吸い上げていただき、当会議にて積極的にご発言いただき、活発にご協議いただきたく存じます。ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。 議題（２）「今後のスケジュールと協議事項」について、説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。 ただ今の事務局の説明に対して、ご意見・ご質問などございましたらお願いします。 （意見なし）
山本会長	特にないようでございますので、以上で議事を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。
事務局（商工課 吉永）	山本会長、ありがとうございました。 事務局から1点ご報告いたします。 次回、第2回会議の日程でございますが、7月31日（金）午前10時から、会場はプラザ22会議室での開催を予定しております。後日あらためてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。 それでは、最後に飯田副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。
副会長	（閉会の挨拶） 以上